

市民と吹田市、UR都市機構がひとつになって  
より暮らしやすい、まちづくりに取り組みました。



現地撮影(平成28年8月21日)

千里山駅周辺の交通環境等の改善のため、平成17年7月にまちづくり懇談会を発足し、市民・吹田市・UR等でまちづくりについて話し合い、計画を積上げ、実施に至りました。



千里山駅前周辺のまちづくり年表

平成17年 7月	まちづくり懇談会が発足
19年 1月	同会が「まちづくり提案書」を市に提出
20年 3月	市が千里山佐井寺線、駅前交通広場の都市計画決定
11月	市とUR都市機構が施行協定を締結
21年 2月	同会が「千里山団地区域再生への提案」を市に提出
23年 3月	UR都市再生機構が千里山団地の工事に着手
25年 7月	自転車駐車場供用開始
27年 1月	跨線橋開通
4月	駅前商業施設(Bivi)オープン
28年 9月	千里山駅前交通広場完成

発行年/平成28年9月

吹田市 土木部 地域整備推進室  
TEL:06-6833-6871 FAX:06-6872-1652

独立行政法人 都市再生機構 西日本支社  
ストック事業推進部 ストック再編事業第3チーム  
TEL:06-6969-9545 FAX:06-6969-9953

新「千里山」の誕生です。





吹田市  
千里山

# 暮らしやすく、愛されるまちへ 千里山駅前は、より快適に美しく。

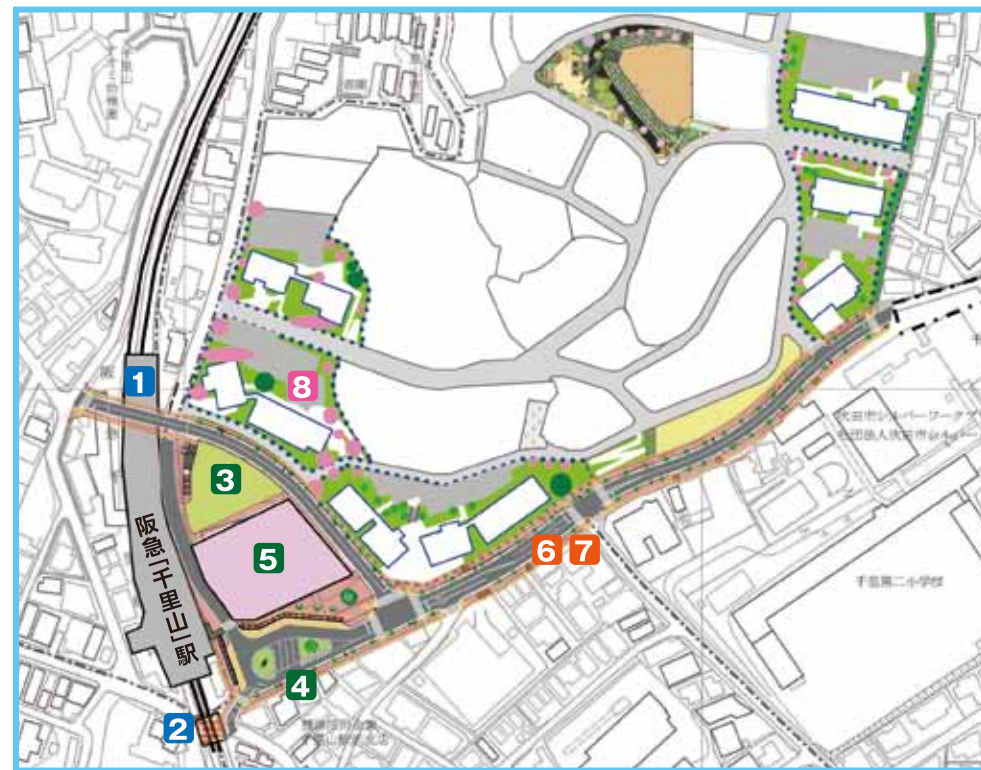
## 千里山地区の概要

千里山地区は、大正末期に住宅地が開発され、その後、昭和32年に日本住宅公団（現UR都市機構）が千里山団地を整備し、緑豊かで閑静な住宅街として市街地が形成されてきました。しかし、近年では、踏切の安全性、都市計画道路の未整備、駅前都市機能の不足が地域の大きな課題となっていました。それらの課題解消のため、千里山駅周辺整備事業では老朽化した都市再生機構（UR）千里山団地の建替えと総合的・一体的な整備を行いました。



## 主な整備事業

- 1 跨線橋の新設。
- 2 駅南側の踏切を歩行者専用にする。
- 3 自転車駐車を新設。
- 4 駅前交通広場を整備。
- 5 商業施設や地域交流拠点の整備。
- 6 千里山佐井寺線の整備。
- 7 安全に寄与するインフラ整備。
- 8 団地を建替え。



## 踏切の安全性の確保

### 1 阪急千里線を跨ぐ跨線橋を整備

踏切を横断していた車の振替道路として跨線橋を整備し、車のスムーズな東西横断を確保しました。

### 2 踏切の歩行者専用化

6つの道路が交差し危険だった文化踏切を歩行者専用にし、安全性と交通環境を向上させました。



## 駅前都市機能の形成

### 3 自転車駐車を整備

駅周辺放置自転車をなくすため、1300台収容の自転車駐車を整備しました。自転車駐車場には太陽光発電や壁面緑化も施されています。

### 4 新たな地域の玄関となる駅前交通広場を整備

バスやタクシーが乗り入れ可能なロータリーやベンチのある広場などからなる駅前交通広場を整備しました。また、駅西側にあった交番も駅前交通広場内に移転されました。



### 5 暮らしに便利な商業施設や地域交流拠点の整備

駅前に新たな商業施設が整備され、合せて地域交流の拠点として吹田市立千里山コミュニティセンターが設置されました。



## 都市計画道路（千里山佐井寺線）の整備

### 6 佐井寺から千里山駅へと続く道路を整備

従前幅員8mであった道路を、千里山団地の建替えに合わせて、街路樹のある両側歩道と車道からなる幅員12m～16mの道路に整備しました。

### 7 道路下に地域の安全に寄与するインフラを整備

道路の整備に合わせて、新たな雨水管や、景観に配慮した電線共同溝を整備しました。



## 千里山団地の建替え

### 8 桜などの環境資産を継承して団地を建替え

老朽化した千里山団地を、居住環境の向上のため、新たに7棟340戸の集合住宅に建替え、団地のシンボルとして親しまれていた桜も「ふるさと桜」として継承しました。

